

令和元年度 第4回摂津市民図書館等協議会 要点録

日時:令和2年3月5日(木)

14時00分～15時30分

場所:摂津市民図書館 3階大会議室

出席委員: 8名

欠席委員: 2名

事務局: 3名

案件 1. モニタリング評価結果報告(令和元年度第3四半期)

2. 子ども読書活動推進計画パブリックコメント結果
3. 令和元年度利用者満足度調査
4. 令和2年度年間事業計画案
5. その他

(1)モニタリング評価結果報告(令和元年度第3四半期)について

(事務局) — モニタリング評価結果(令和元年度第3四半期)について説明 —
モニタリング評価自由記載欄の意見について

(事務局) ○「行事イベント報告書の中に小学校の見学会があった事、今後小学生達が図書館に親しみを持って図書館利用の習慣を身につけてくれたらいいなと思った。他にも職員さん達など図書館の利用者を増やす為に色々努力してくれている事がうかがえた。ありがとうございます。」ということについて。

⇒ご意見ありがとうございます。現在新型コロナウイルス感染拡大防止対応のためイベントを中止しておりますが、今後も続けていきたいと考えている。

(事務局) ○「コミプラでの出張おはなし会以前と比べると参加者が少ない回があり残念です。コミプラに来られる親子さんは多いはずですので、何か新しいアイデアが必要に思います。ポスターやチラシに図書カードが作れることおはなし会で絵本が借りられること、コミプラを利用した本の貸出・返却のこと等おはなし会に来る利点を明記するのはいかがでしょう。」

⇒隣接している保健センターでのPRをさらに進めていく。

(事務局) ○「「古生物を見てみよう」の新企画。今までとちがう視点のイベントで興味を引きました。後日の結果発表も素敵だと思いました。」

⇒ありがとうございます。

(事務局) ○「大人の講座「紅茶とマナーのおはなし」キャンセルが出れば当日で

もよいのでと参加を望まれる声にお答えできないことは大変残念に思います。当日参加がかなわない理由を聞かせていただけますか。人気のイベントにはキャンセル待ちの枠を作っても良いのではと思いました。」

⇒人気があるイベントの対応を協議する。キャンセル待ちのルールの設定が必要になるので、検討したい。

(事務局) ○「バリアフリー本の展示をする企画を希望します。障害者週間等と合わせると市民への啓発になるかと思います。」

⇒次年度の事業計画に障がい者週間の企画を盛り込んでいる。

(事務局) ○「摂津市民図書館について、子ども用でも大人用でもトイレは全て洋式にしてほしい。(子どももお年寄りも和式は使用しづらいです)」

⇒多目的トイレの整備には現状では空間に限りがあること、さらにすべてのトイレを整備する他の費用が大きい。将来の老朽化を見据えた全目的な大規模改修を視野に入れて検討する。

(事務局) ○「市民図書館、道路側の植え込み近くの駐輪場でグレーチングの隙間にカギを落としそうな場所があるので、何か対策をしてほしい。」

⇒現状を確認し、2段ある金網の下段部分に目の細かい網を設置することで対応したい。

(事務局) ○「いつもながら子どもを対象とした読書推進活動や子育て家庭へのサポートの企画が優れていると思います。」

⇒ありがとうございます。

(事務局) ○「市民図書館入口の明るさが少し残念な気がします。もう少し明るく、また道路からのアプローチ部分に図書館があることがわかるような看板があるとよいと思います。」

⇒以前もご意見をいただき、照明をLEDに変え、据え置きタイプのライトを設置した。次年度、再来年度で改修の取り組みを行いたい。

(事務局) ○「多目的トイレについて、鳥飼図書館センターの多目的トイレの扉は横開きと分かりやすいが、市民図書館の多目的トイレの扉は、築年数が古く扉も重く横開きなのか押すタイプなのか迷った。」

⇒表示について明記する。早い段階で対応する。

(事務局) ○「平日だが、市民図書館は人の出入りはいつも通りだったが、鳥飼図書館センターは予想外に来館者がいて(親子連れや中学生や年配の方々)賑わっていました。」

⇒イベントを含め来館者の増加にさらに努めたい。

(事務局) ○「イベントのぬいぐるみのお泊り会は、ホッコリしました。」

⇒ありがとうございます。

(事務局) ○「図書館として、もっと他団体との連携した動きやイベントを推進した方がよいと思える(ビブリオバトル等)。少し違う側面から集客や市民還元を目指

してほしい。」

⇒幼稚園保育所、小中高に加え、大学のサークル単位でもイベントへの参加を呼び掛けていく。

(事務局) ○「現在の状況で仕方ないと思うのですが、コロナウイルス等の影響で職員の方々にピリピリした感じがあり入口で緊張した空気が漂っておりました。」

⇒終息が見えない中、3月3日より利用の制限をしている。現状予約本の受け渡し、返却本の受付のみで運営している。限られた業務のなかで、利用者の方に少しでも喜んでもらえる状況になるよう努めたい。

(事務局) ○「私は日ごろから図書館を家路の間にある息継ぎとして気軽に入館させていただいております。その時働いておられるスタッフの方々に声をかけます。どなたもその時本について丁寧にお話をさせていただきます。とても気持ちのよい時をすごさせていただいております。ありがとうございます。」

⇒ありがとうございます。スタッフに伝えます。

(委員) 図書館のトイレは洋式にしてほしい。改修が大変であれば、市民図書館は隣の安威川公民館を案内してはどうか。

(事務局) 混雑を考えて案内したい。

(委員) よその建物の事例だが、多目的トイレに「お急ぎの方はどうぞ」という表示があった。それを活用してはどうか。

(委員) (図書館イベントについて) 図書館の人が人集めに苦労しているように見えた。我々協議会委員も早くから呼びかけてみてはどうか。

(事務局) 生涯学習課の別のイベントで大学生のグループが参加しているので、そのつながりで呼びかけを行いたい。

(委員) (ビブリオバトルについて) 小学生から「マンガを紹介したらだめなのか」と聞かれた。『マンガのみビブリオ』を第2部などで開催して、敷居を低くしてみてもどうか。

(委員) 今人気のマンガは子ども、親、祖父母世代みんなで会話ができると聞いたので、その方法がいいと思う。

(委員) ビブリオバトル公式のルールにのっとる必要はないので、ビブリオバトルという名前にこだわらなくてもいいと思う。

(事務局) 学校によって温度差があるが取り組みをしているところもある。

(委員) ユーチューブでビブリオバトルの動画が見られるので紹介してみてもは。

(委員) (他団体との連携について) 青少年指導員では団体と連携して「段ボール迷路」を鳥飼地区で年1回行っている。それを鳥飼図書センターで小さい子ども向けにできないか。

(事務局) 鳥飼図書センターの人員が少なく図書館だけで賄えない。そのクリアが課題になる。協力を申し出てくれる団体があれば検討できる。

(委員) 最近は、図書館が必ずしも静かな空間でなければならないという認識が少ないと聞くが、図書館ラウンジで子どもバザーを開催し集客ができな

いか。

(事務局) 図書館内である以上金銭が関係するものは難しいかもしれないが、子どもの自主活動を行うことは歓迎できる。

(委員) パン作りなど、食のイベントを図書館で行うなどはどうか。

(委員) J Aの朝市を図書館前でやってみては。

(委員) 公民館祭りを全公民館で行っているのだから、もっとその場で図書館をPRすべきだ。

(2)子ども読書活動推進計画パブリックコメントについて

(事務局) ー子ども読書活動推進計画について、前回審議したものと取り組み内容は変えていないが、各機関同士が横のつながりで取り組みができるように構成を組み替えたことを説明。また、パブリックコメントの意見と回答案を説明ー

ー出席委員から子ども読書活動推進計画及び、パブリックコメントへの回答案について承認ー

(3)令和2年度年間事業計画案について

(事務局) 新規企画について、おはなしかいふらすは協力のボランティア団体が来年度より参加できなくなったため、代替え案として、6月に市民図書館で障害者についての講話のイベントを、鳥飼図書センターで12月に体験型のイベントを企画している。また、毎月子ども向けに「お仕事お手伝い隊」という図書館のカウンターに立つ企画を進めている。夏休みには市民図書館、鳥飼図書センター合同のスタンプラリーを考えている。以前の協議会で提案のあった「図書館に泊まろう」は施設の広さやスタッフの勤務体制の都合で難しいが、図書館の開館前の状況、スタッフの動きや準備風景を見てもらうイベントができないか、検討している。

(委員) 市民図書館、鳥飼図書センター合同企画のスタンプラリーとは。

(事務局) 本の貸出の際にどちらの館でもスタンプを押してもらえるようにし、スタンプがたまると各館の用意した図書館オリジナルグッズがもらえる。両館どちらも利用してもらうことを意図した。

(4)利用者満足度調査について

(委員) 個別の意見に棚が低いというものがあるが、高齢者と幼児では高さの要求が異なるし、地震の時は高さが「凶器」になりうる。

(事務局) 棚の高さについては利用者層が多いものに合わせるしかないところがある。低学年向けは下の段に、高学年向けを上段にという工夫はしている。バリアフリーの観点からみれば中段に多く本が並んでいるのが理想であるが、広さの制約がある。

(5)その他

(委員) 3日から始まった利用制限について、ホームページを見ればよかったのだが、知らなかった。今回のこと以外でも図書館からのお知らせについ

- いて学校が保護者向けに出すメールと一緒に載せられないか。
- (委 員) 学校は学校関係以外の連絡が難しいと聞く。回覧板は使えないか。
- (委 員) 回覧板の情報が多すぎて、埋没すると思う。
- (委 員) 今の子育て世代はペーパーの情報を見ていない。
- (委 員) ツイッター、インスタグラムは、スタッフの負担が大きいのか。
- (事務局) イベントの内容に応じて小中学校へ告知を行っているが、全児童、生徒には届けることが難しい。ただし、夏休みの前に各学校に図書館のイベントのチラシを置いてもらうことはできると思う。
- (委 員) 12月のおはなし会は公民館とイベントがバッティングして参加者が少なかった。図書館と公民館ですり合わせはしているのか。
- (事務局) 市民図書館と鳥飼図書センターでは調整できるが、公民館をすべて加えると日程が作りにくくなるかもしれない。しかし、できるだけバッティングを避けるようにしたい。
- (委 員) 鳥飼図書センターの駐車場の場所が分かりにくい。
- (事務局) 表示を確認する。
- (委 員) 鳥飼図書センターの3階学習室で市民図書館のラウンジのように飲み物を飲めるようにしてほしい。休憩コーナーの場所がわかりづらいうえに玄関に入ってすぐの場所で寒かった。
- (事務局) 自販機の設置については図書館と市の協議が必要であり、事業者の見込みがないと進められない。図書館内での飲食について、夏の熱中症対策で飲物を容認する動きはある。蓋付きの飲物であればよいという傾向もある。
- (委 員) 感染症対策に水分補給が有効との話もある。
- (事務局) 飲物をこぼした場合のメンテナンスがしやすい施設に改修できれば館内での水分補給を勧めやすくなると考えている。